

展示のお知らせ

秋葉小中図書館

只今、中央玄関に
秋葉中学校合同で

3. 1 1 東日本大震災に

関する本の展示を行っています。

秋葉図書館前にも地震に関する
展示を行っています。

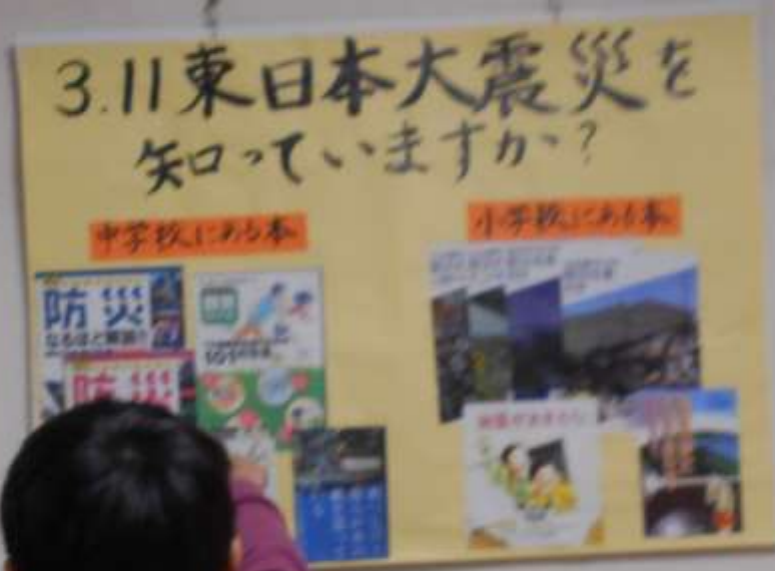
3.11東日本大震災を 知っていますか？

中学校にある本

小学校にある本



秋葉小中学校玄関ホール



秋葉小中学校玄関ホール

秋葉小中・中央玄関ホール



「校長先生！」

「教えてください！」

**「秋葉小学校の財産って、
何ですか？」**

「君たちだよ！」

「未来に生きる君たちだよ！」


**「未来に生きる君たちが、
秋葉小の財産であり、
宝物なんだ！」**

それを聞いて

うれしそうにして

帰って行く
二人でした。





子どもたちが
「未来の宝」

希望をともにつくりだす
横浜市立秋葉小中併設校

翌日

二人から

一人ふえて

三人になりました



秋葉小中学校玄関ホール



秋葉小中学校玄関ホール



2011年3月11日14時46分

マグニチュード9.0の巨大地震が発生
大津波が街、生活、命を奪い去り
人々の心に消すことのできない傷痕を残した

15:25

地震に続く悪夢
川を逆流する黒い奔流

秋葉小中学校玄関ホール

秋葉小中学校玄関ホール





秋葉小中学校玄関ホール

次の日

三人目の
その
おともだちが、

突然

「校長室」に

やってきて、

「ぜひ読んでください」

と「作文」を
持ってきました。

『しぜんのもうい』

小学3年生

ひるやすみに

こうちょうしつへ

まんがを

とりにいったら、

こうちょうせんせいが

ひがしにほんだいしんさいの

ほんを

みせてくれました。

2くみの
〇〇くんと
〇〇くんも

こうちょうしつに
きていたので、
いっしょに
みた。

「えーっ」

本をひらいたら

ソ ー ツ とした。

おどろくほど

かわっていたのだ。

「ふねが あがってるよ」

2くみの

ともだちの

〇〇くんが

いった。

だって、

「いつも コンテナだらけの
クレーンとかあった
みなとが・・・」

心の中で

おもった。

だって
おふねは

うくといか

水に

うかぶって

ずー————

———っ と

まえから
わかっていた。

うくように

つくっていたのに、

いまは、

「タイタニック」

(むかしのえいが)

(ちんぼつしたえいが)

のように

ちんぼつを

ふせごと

していたのかも

しれない。

だが、

まきこまれた

ふねも あったらしい。

「ビルの上に ふねが！」



それに

まきこまれた

人が

せつなく

かんじた。

そして

なきそうに

なった。

本当に

(5) ~ (6) さいくらいは

きおくに

のこりそうだったから、

他の人から

きいても

じごくだと おもう。

しかも

他の本をみると

くるまが

ながされていた。



○○くんが

「ウルトラマンとかで
あったけど、
本当にあったんだ」
といったけど、

オレも
そうおもった。

あと

もう 1 かい

おきたら

ちきゅうが

われちゃう ほどだった。

あらためて、

ぼうさい
くんれんの

いみと

しぜんの

もういを

かんじた。

『しぜんのもうい』

小学3年生



秋葉小中学校玄関ホール

3.11東日本大震災を
知っていますか?

中学校にある
小学校にある

伝えたい
震災後の8年

被災地 今の課題は

復興 若者が担い手

高志の力になりたい

新づくりは「事前復興」で

秋葉小中学校玄関ホール



伝えたい 震災後の8年

● 復興の現状 復興庁 〇
 ● 被災者の生活 復興庁 〇
 ● 復興の課題 復興庁 〇
 ● 被災者の声 復興庁 〇
 ● 復興の未来 復興庁 〇

被災地 今の課題は

被災地の現状を把握するためのデータと地図。被災地の復興に向けた課題を分析しています。

復興の課題
 被災地の復興に向けた課題を分析しています。被災者の生活や復興の現状を把握するためのデータと地図を掲載しています。

復興 若者が担い手

復興の力になりたい

復興の力になりたい

復興の力になりたい

復興の力になりたい

秋葉小中学校玄関ホール

秋葉小中学校玄関ホール



伝えたい
震災後の8年

本館の撮影をもちいた
記事は、これまでで
の。岩手、宮城
この月日を「追体験

岩手県花巻市にある「心のこも
る学校」が、震災後8年経った今



岩手・花巻市

自宅再建



「転居先から送られて
来たお礼状が、うれしい」

岩手県花巻市の転居先
す。岩手さんは、震災
の被害を受けたお宅
み上げる。震災を再
験は、自宅再建を
でくわった。

震災前、岩手さん
宅装店舗で、妻と
人の社子人で暮ら
特の岩手さん（当時
震災の2年前から
として仕事を始
が、津波は、自宅
て自らの長男を

震災の1年半後
で装店舗を再建
暮らすのは4年
宅。「2年くら
れると思ってい
にも時間がかか
ました。

未曾有の被害をもたらした
東日本大震災により
犠牲となられた全ての方々の
心からのご冥福と
一日も早い復興を
お祈りいたします

職員一同

思、か、り、の、山

希望をともにつくります



秋葉小学校昇降口